地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

（1） このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。

（2） このデジタルアーカイブの利用に際しては「東京大学経済学図書館電子資料利用規則」に同意したものとみなされます。

（3） 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。

（4） 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。

（5） 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

（6） 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

0000 0391

特種銑鉄生産ニ就テ

昭和十年四月七日　建設局
作業局

一、要旨

戰局ノ現狀ニ鑑ミ特種銑鉄生産ニツイテモ予メ考究シテ置ク必要カアル、以下ソノ主ナルモノトシテ木炭銑及電気銑生産ニツイテ述ヘル。

二、木炭銑ノ生産

木炭熔鉱炉ハ大型コークス熔鉱炉ニ比シ大量生産ニハ適セナイガ、広イ地域ニ分散シテ低品位ノ鉱石ヲ使用シテ高級銑鉄ヲ得ラレル簡易製鉄法デアル

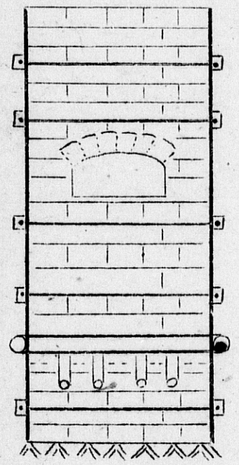
(一)　本邦ニオケル現狀

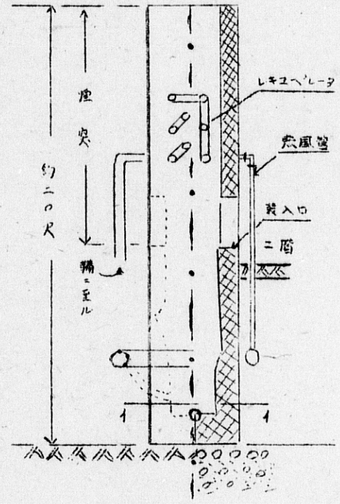
角炉及ビ丸炉カ使用サレルガ、丸炉ハ小型熔鉱炉ト同構造デアル。左図ニ示スモノガ五基角炉デ操業ハ別ソテ容易デ普通ノ熔鉱炉ト同シク石灰石ト鉱石ノ混合物ト木炭ヲ層状ニ装入スル。木炭ハコークス」ヨリ活性大ナル故、出銑也当リ炉容積ハ〇、七立米ニシテ充分四〇分以下ノ低級鉱石サヘ低温デ還元シ得、又焼結セサル砂鉄ソノ侭テサヘ吹製可能ナリ。木炭消費量ハ小型ナルタメ出銑也当リ一、七屯モナルモ大型ニナル程小トナル。

現狀トシテハ未ダコークス熔鉱炉ガ操業可能ナルタメ輸送難、木炭不足、労務不足ノタメ半数ハ停止ノ状態ナルモ、非常ノ際ハ戰艦置サヘトレバ容易ニ年産一〇万屯ニ達シ得ル。蓋シ現存設備ハ約四万三千屯ナリ。

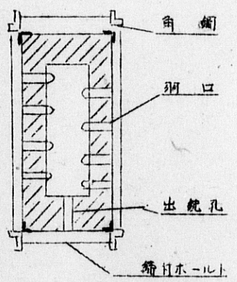
東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0392





縦断面



(2)

(二)

木炭銑ノ性質及用途

木炭ヨリ天ル銑 硫黄少ク、且ツ低温焼装タル為普通ノ分析ニ現ハレサル銑鉄中ノ瓦斯含量少キ故、鋼、兵器、チルドロール、工作機等高級特殊鋼原料高級チルド鋳物用トシテ不可欠ナルモ、殊ニ焼鈍装ノクメ硅素含量少ソノ他ニテハ鋳物銑トシテ使用不可能テアル

五、木炭銑角炉新設計画

別紙

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0393

三、五屯木炭銑角炉新設計画（炉一基ニ付）

(一) 所要資材

種別	構造	数量	延坪	資材名	数量	備考
角炉	炉支床及ホールバント共	一		鋼材	四、〇〇〇貫	
	送風管、送風機			銑鉄材	二、〇〇〇〃	
	ハンド及フランヂ			〃	二、〇〇〇〃	
	炉腰羽口及要部			耐火煉瓦	三五、〇〇〇〃	約一五立米
	外側煉瓦			赤煉瓦	四〇、〇〇〇〃	約一〇立米
	基礎煉瓦			セメント	一五、〇〇〇〃	
	破砕用電動機 一五馬力	一	四〇	木材	二〇〇〇石	一、二、三、
	送風用電動機 三馬力			釘	二〇〇〇貫	一台
	篩分用及運立用電動機 一五KW			セメント	二〇〇〇袋	
製錬工場	木造人レート葺	一	一二	木材	三大石	
				釘	二〇〇貫	
				セメント	八〇袋	
鞴室	木造瓦葺	一	一二	木材	三大石	
				釘	二〇〇貫	
				セメント	八〇袋	
事務所	〃	一	五〇	木材	一五〇石	分析室ヲ含ム
				釘	七五〇貫	
				セメント	二五〇袋	
社員独宅	〃	一	三〇	木材	九〇石	
				釘	四五〇貫	
社員合宿	〃	一	三〇	木材	九〇石	
				釘	四五〇貫	
工員独宅	〃	一	六〇	木材	一八〇石	
				釘	九〇〇貫	
工員合宿	〃	一	四〇	木材	一二〇石	
				釘	六〇〇貫	
浴場	〃	一	一二	木材	三〇石	
				釘	一五〇貫	
				セメント	一五袋	

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0394

一般倉庫	木造瓦葺				
木炭倉庫	〃	〃			
製鋼炉網所	〃	鉄筋コンクリート造	一	五の石	
給水設備	鉄筋コンクリート造		一	一の石	一の五尺
貯水池					
合計					

(4)

(二) 工程 約三ヶ月

(三) 従業前要人員

一基当り工場作業員 三〇名

製炭夫 一〇〇名

(四) 電気銃

(一) 銃数々備ニヨル場合

別表ノ如ク国内既設ノ設備トシテ鉄能力年間二五万屯ニ到スルモ木炭電力電極等ノ取得難ヨリ出銃ハ公称ノ三大約程度トナッテ居ル、コレラノ手当ヲヘ行ヘバ既設ノ設備ノミニテ直ケニ生産増強ヲ行ヒ得ル。

木炭電力ハ前述ノ如ク総面レ得ルトシテモ、黒電極ガ差当リ問題トナル。豊富ナル電力ヲ有スル我ガ国ガ電気銃生産助長政策ヲ取ルコ

0000 0395

トカ日下・応務デアル。

(二)新設スル場合

目下新製中ノ及未据付ノ新設備ニシテ遊休電炉一五〇万屯アリ。
電極トシテハ岐阜ノ土壌黒鉛、代用電極及人造電極ノ生産ヲ強化スレバ可ナリ。金剣電才、国内鉱石、木炭、コークス等ヨリ考ヘラ新設可能ト見ラレルモノハ、左ノ如シ。

北海道	一九万屯	
東北	三万屯	
関東	一〇万屯	
中部地方	一五万屯	
西国九州中国地方	三万屯	
合計約	五〇万屯	

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0396

第一表　　既設並建設中及新設計画小炭乾炉表計表　　（単位　瓲）

地区	既設並建設中ノモノ									計				
	瓲/日×基数	標準生産	所要砂鉄鉱石	所要木炭	事業者	瓲/日×基数	標準生産	所要砂鉄鉱石	所要木炭	予定事業者	瓲/日×基数	標準生産	所要砂鉄鉱石	所要木炭	山林局希望能給木炭
北海道	角 4×1	1200	2400	2400	北海砂鉄工業	角 5×8	10000	24000	24000	興農公社 6 北海砂鉄 2	4×1 5×8	11000	24000	24000	33000
青森						〃 5×1	1250	3000	3000	商工組合	5×1	1250	3000	3000	3000
岩手						〃 5×6	7500	18000	18000	日鉄 2	5×6	7500	18000	18000	18000
秋田						〃 5×1	1250	3000	3000	〃 1	5×1	1250	3000	3000	3000
山形	丸 10×1	3000	6000	6000	中央製鉄	〃 5×1	1250	3000	3000	〃 1	10×1 5×1	4250	9000	9000	9000
福島						〃 5×4	5000	12000	12000	日立 2、2	5×4	5000	12000	12000	9000
栃木						〃 5×1	1250	3000	3000	〃 1	5×1	1250	3000	3000	1500
群馬						〃 5×1	1250	3000	3000	日本鋼管	5×1	1250	3000	3000	1000
山梨						〃 5×1	1250	3000	3000	大正鉱鉄	5×1	1250	3000	3000	
埼玉	角 5×1	1250	3000	3000	共和製鋼						5×1	1250	3000	3000	
福井						〃 5×1	1250	3000	3000	商工組合	5×1	1250	3000	3000	3000
長野						〃 5×2	2500	6000	6000	信濃製鉄	5×2	2500	6000	6000	3000
岐阜						〃 5×2	2500	6000	6000	庇鉄、商工組合	5×2	2500	6000	6000	3000
静岡						〃 5×1	1250	3000	3000	〃	5×1	1250	3000	3000	
三重						〃 5×1	1250	3000	3000	〃	5×1	1250	3000	3000	
兵庫	角 3×1	750	1800	1800	恵谷製鋼	〃 5×1	1250	3000	3000	日本木炭鉱	3×1 5×1	2000	4800	4800	
岡山						〃 5×1	1250	3000	3000	〃	5×1	1250	3000	3000	
鳥取	角 3×2 丸 5×1 〃 5×1 10×1	3250	12700	15600	石黒製鉄 大阪特殊製鋼 出雲 1 日立 2 備前 1 日本鋼材 1 帝国製鉄 1 〃 2						3×2 5×2 10×1	2250	12900	15600	9600
島根	〃 4×1 〃 5×4 20×1	12750	23400	24150							4×1 5×4 20×1	12750	23400	24150	24150
広島	丸 20×2	13000	25600	19500							20×2	13000	25600	19500	11250
徳島						〃 5×1	1250	3000	3000	商工組合	5×1	1250	3000	3000	3000
愛媛						〃 5×1	1250	3000	3000	住友	5×1	1250	3000	3000	3000
高知						〃 5×4	5000	12000	12000	中山工 〃 2	5×4	5000	12000	12000	9000
熊本	角 8×1	2000	4800	4000	大阪特殊製鋼	〃 5×1	1250	3000	3000	大野鋼又ハ 〃	8×1 5×1	3250	7800	7000	7000
大分						〃 5×1	1250	3000	3000	〃	5×1	1250	3000	3000	5400
宮崎	角 8×1	2000	4800	4000	日立製作所	〃 5×1	1250	3000	3000	日立又ハ 〃	8×1 5×1	3250	7800	7000	13000
鹿児島						〃 5×4	5000	12000	12000	日鉄 2 〃 2	5×4	5000	12000	12000	18000
計	19基	43000	93400	88450		46基	57500	138000	138000		65基	100500	234400	224450	224450

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0397

第二表

近年，水炭鉱生産高一覧表

地区	会社工場名	16年度	17年度	18年度	19年度 4～6	19年度 7～9	19年度 10～12	19年度 1～3見込	19年度 計	備考
広島	帝国製鉄竹原	6410	5775	6073	1249	681	795	1100	3825	
〃	加計	6480	5330	4782	1035	828	722	300	3885	
島根	三成	3533	3655	2668	900	606	506	-	2012	
〃	小計	16423	14780	13533	3224	2115	2023	1400	8972	
島根	扇井製鉄所	1196	1015	793	159	67	284	50	560	
〃	日立製作所亀山	1400	1380	1246	344	323	212	220	1099	
〃	日本特殊鋼島根	248	242	152	-	-	-	-	-	改築中20年4月完成予定
〃	出雲製鉄日登	60	223	167	46	53	-	100	199	
鳥取	大阪特殊製鉄黒坂	2247	1305	1140	338	462	440	330	1640	第5下期9九10月計=改造中 20年6月完成予定
〃	〃 成子	150	75	75	-	-	-	-	-	休止中
〃	石原曲屋 宝水	600	193	315	46	42	55	90	233	
兵庫	鈴谷製鋼所	45	23	-	7	-	-	-	7	休止中
埼玉	共和製鋼幸居	81	50	101	-	-	-	-	-	〃
熊本	大阪特殊製鋼 八吉	1275	1418	1344	309	180	257	330	1276	
宮崎	日立製作 宮崎							160	160	新設中19年12月完成
山形	中央製鋼									建設中20年6月 〃 予定
北海道	北海砂鉄工業 大沼									〃 〃 4月 〃 〃
青森	八戸製鉄所	698	1371	-	-	-	-	-	-	18年以降コークス炉=転換
	小計	6400	7341	6403	1492	1127	1248	1320	5194	
		24823	22121	19936	4723	3242	3271	2720	13936	

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0398

第三表　　標準能力生産ニ要スル主原料供給増加量補給対策要領

地区	製鉄工場名	銑鉄鉄塊石綿（単位 瓲） 製鉄所増加	現有自給力	要補給量	補給対策	木炭（単位 瓲） 要供給増加	現有自給力	要補給量	補給対策
北海道	北海砂鉄工業　大沼	2400	−	2400	鉄山山砂鉄(自営)開発ト噴火湾砂鉄ノ供給	2400	−	2400	原則トシテ供給ヲ予定セラレ居ラザルモ一部自給計画ニ依リ供給ヲ受ケタキ旨申出アリ
山形	中央製鉄	6000	−	6000	鉄山超鉄鉱(自営)ノ開発ニヨル	6000	−	6000	約半量ハ従来ヨリ受給ノ予定
埼玉	共和製鉄　岸尻	3000	500	2500	利根川沿岸砂鉄(自営)ノ増産援助ト配給増加ニヨル	3000	−	3000	薪ヨリ炭ヘ切換ヲ要ス
兵庫	熊谷製鋼	1400	−	1400	島根県那賀郡浅原ノ砂鉄鉄鉱(自営)ノ開発ト配給ニヨル	1400	−	1400	県内ノ伐有伐木ノ製炭増加ノ外岡山県等ヨリ移入割当ヲ要ス
鳥取	石産倉庫　室木	3000	1000	2000	鳥取島根各一ノ自鉱ト海砂鉄ノ増産援助ト配給増加ニヨル	3000	1000	2000	県内旧郡部ニノミ5000下ノ供給計画中ノモノハ援助ノ一部配給未了、割当ヲ要ス
〃	大阪特殊製鋼　黒坂	6500			海砂鉄6000下山砂鉄1000下鉄滓塊鳥取4000下岡山1000下島根1310下及島根磁鉱粉鉱3000下、計24300下ノ自営実産計画ヲ以テ当該鉄及鋼開所ヲ充足ノ予定アリ	5000			岡山5000下鳥取1000下自営及増産計画実施ノ暁ハ充足ノ予定ヲ以テ両県供用分ヲ充足ノ計画アリ
〃	〃		1500	4600			1500	3500	
〃	〃　水子	3600				3000			
島根	出雲製鉄　日登	1900	500	1400	自鉱及海砂鉄ノ増産援助ト配給増加ニヨル	1900	300	1600	配給炭ノ割当増加ニ入ト共ニ自家製炭ノ供給ノ増加ヲ要ス
〃	日立製作　島上	3300	1200	2100	県内自鉱ノ山川海砂鉄ノ増産援助ノ外ヲ他ヨリ補給ヲ要ス	3300	1200	2100	自家炭ノ増産援助ノ外配給不足ノ割当ヲ要ス
〃	桐井製鉄	1600	600	1000	同上	1600	1000	600	但シ製炭ノ増産援助ニヨリ充足可能
〃	日本鋳物　島根	3600	800	2800	鉄津砂鉄ノ自営増産ヲ援助スルノ外割当他ヨリ補給ヲ要ス	3000	600	2400	配給炭ノ割当増加ノコストニ自家製炭ノ設備ヲ援助スル要アリ
〃	帝国製鉄　三成	9900	900	9000	砂鉄鉄車鉄取ノ増産援助ニ依リ若干ヲ消ト雖ドリテ最補給量ノ大部分ハ他ヨリ配給ノ外ナシ	6150	450	5700	自家製炭ノ増産ニ付援助ヲナスト共ニ配給不足ヲ相当量ニ割当ヲ要ス　三成工場分ニ付テハ特ニ無リ
広島	〃　竹原	5800	800	5000		3150	1550	1600	
〃	〃　化井	5000	−	5000		4750	3450	1300	
熊本	大阪特殊鋼鋼　人吉	1800	1800	−	菊地川砂鉄流鬼馬県下次津ノ自営鉄ヨリ充足ス可能アリ	1500	1500	−	県内ヨリ移入ヲ為ス自営及増産ヲ以テ充足ス可能ナルモトラック不足ニ困難
宮崎	日立製作　宮崎	4400	−	4400	自鉱及海砂鉄ノ増産ヲ援助ノ外他ヨリ補給ヲ要ス	3900	3900	−	県内工場所在地域ノ生産ヨリ充足可能ナルモ小規模ノ為ヲ要ス
	合計	66800	9600	57000		53250	16250	37000	

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0399

地区別銑炉新設・木炭銑増産計画案

第四表

地区	主要設備能力		砂鉄・焼鉱石数所要量		木炭		備考
	腰当×基数	標準年産(噸)	数量(噸)	取得予定先	数量(噸)	取得予定先	
北海道	5×2	10,000	24000	道内ノ砂鉄及一部鉄鉱	44000	道内	一部ハ内地小型高炉ノ移設モ考慮可能
青森	5×1	1250	3000		3000	〃	
岩手	5×6	7500	18000		18000	〃	一部ハ小型高炉ノ移設モ考慮可能
秋田	5×1	1250	3000		3000	〃	
山形	5×1	1250	3000	青森、岩手ヨリ十勝方面ニ至ル太平洋沿岸砂鉄及一部所在地附近ノ鉄鉱石ヲ対照トス	3000	〃	
福島	5×4	5000	12000		12000	〃	
栃木	5×1	1250	3000		3000	〃	鬼怒川奥ニ既設5T丸炉アル模様?
群馬	5×1	1250	3000		3000	〃	
山梨	5×1	1250	3000		3000	〃	
福井	5×1	1250	3000	岐阜長野方面ノ鉄鉱石及千葉砂鉄トヲ対照トス	3000	〃	中国重工ノ分、信濃製鉄5T自羊ノ現地転用モ考慮可能
長野	5×2	2500	6000		6000	〃	
岐阜	5×2	2500	6000		6000	〃	
静岡	5×1	1250	3000	伊豆半島砂鉄ノ開発ニヨル	3000	〃 伊豆半島ノ増産	
三重	5×1	1250	3000	移入鉄石ニヨル	3000	〃	
兵庫	5×1	1250	3000	宍粟郡山奥ノ鉄滓	3000	〃 宍粟郡山奥ノ増産	宍粟郡山奥ニ既設5T丸炉アル由
岡山	5×1	1250	3000	奥地ノ鉄滓	3000	〃	
徳島	5×1	1250	3000	砂鉄ノ開発、鉱石ノ移送又ハ一部鉄鉱津ニヨル	3000	〃	
愛媛	5×1	1250	3000		3000	〃	
高知	5×4	5000	12000		12000	〃	小型高炉ノ移設モ考慮可能
熊本	5×1	1250	3000	福岡、大分、鹿児島方面ノ砂鉄増産ト鹿児島ノ鉄滓ニヨル	3000	〃	
大分	5×1	1250	3000		3000	〃	
宮崎	5×1	1250	3000		3000	〃	
鹿児島	5×4	5000	12000		12000	〃	小型高炉ノ移設モ考慮可能
合計	46基	57500	138000		138000		上記ノ外ヨーリ分自ノ小型高炉ヲ整備計画実施用ノコトモ研究ノ要アリ

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0400

第五表

標準能力生産ニ要スル主原料ノ地域別供給概要

地区	年産標準生産能力	砂鉄・鉄鉱石類（単位 瓲）						木炭（単位 瓲）					
		標準能力対所要量	所要量供給内訳				摘要	標準能力対所要量	所要量供給内訳				摘要
			現使用在重	現給炭力	増産並当量	移入能給増			現使用在重	現給炭力	増産並当量	移入能給増	
北海道	1,000	2400			2400			2400			2400		
山形	3,000	6,000			6000			6000			6000		
岩手	1,250	3,000		500	500	2,000	移入引当先 千葉砂鉄	3000				3000	移入引当先 群馬県
兵庫	750	1,800			600	1,200	〃 岡山鉄津	1800			600	1,200	〃 岡山県
鳥取	1,250	19,400	4600	2500	4100	2,500	福岡大分砂鉄	15,600	4600	2500	4500		
島根	12,750	29,300	9,000	4000	5,000	11,300	移入中約8000ハ帝国製鉄向ケ	24150	4200	3550	12400		
広島	13,000	28,600	14,800	400	1,000	12,200	移入12,600ハ全部帝国製鉄向ケ	19,500	11,600	5,000	2900		
熊本	2,000	4,800	3,000	1,800	—	—		4000	2500	1,500			
宮崎	2,000	4,800	400	—	2100	2300	移入引当先 福岡大分砂鉄	4000	300	3700			
合計	43,000	98,400	31,800	9,600	25,700	31,300		84450	27,200	16,250	32400	4200	
島根	上記ノ外主銅用トシテ約	4650		3650位?	1,000			9300	約73	00位?	2000		

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0401

第六表

昭和十九年度管内木炭需給別当表(校草)

(単位 千瓩)

農商省山林局燃料課

府県別	消費別当量						移出別当量(瓩)	同計画量	生産状況予備量	生産別当量(瓩)	同別当量輸移入	移入計画量
	計	内訳										
		家庭用	製工業用	農林漁業用	運輸業用	其他						
北海道	1136	760	128	49	58	141	318		22	1526		
青森	452	292	70	10	30	51	106		28	587		
岩手	454	314	63	32	09	36	1317		89	1860		
秋田	334	237	64	06	05	32	112		23	479		
山形	316	256	46	26	05	43	155		27	558		
福島	545	305	157	49	09	45	749		66	1350		
栃木	363	254	63	14	06	26	150		26	539		
茨城	418	272	69	39	07	31	150		28	596		
埼玉	243	151	45	05	04	32	158		20	421		
山梨	172	106	26	23	03	14	131		15	318		
長野	567	362	62	81	07	57	355			924		
岐阜	369	189	109	31	05	35	326		36	731		
静岡	186	274	64	95	09	44				483		23
愛知	522	179	300	14	04	25	312		43	877		
鳥取	253	103	122	09	03	16	20		13	286		
岡山	325	175	90	09	15	36	200		28	553		
広島	125	74	11	20	03	17	144		15	294		
山口	227	157	27	16	04	23	144		19	380		
福岡	149	85	39	09	03	13	586		37	772		
熊本	295	180	24	23	05	16	154		23	475		
大分	203	139	22	16	06	20	200		20	423		
宮崎	172	78	66	13	03	12	336		28	586		
鹿児島	221	164	20	13	06	18	520		37	778		
其他	1455	9306	2975	319	574	1307	285		126	7034		7918
計	22954	14418	4712	581	783	2090	6978		819	22860		7941

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0402

第七表　本邦森林面積表

（単位　千町歩）

地域別 ＼ 区分	御料林		国有林		公有林		社寺有林		私有林		合計	
	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合	面積	割合
朝鮮台湾樺太北海道	八九四	三%	一四一一〇	三〇%	一八〇二	大%	一九一	一%	二一二六五	四〇%	二八二六〇	一〇〇%
其他ノ内地	四八六	三	四二〇三	二四	三六四〇	二〇	一五〇	一	九〇九六	五二	一七五七三	一〇〇
計	一三八〇	三	八三一三	五四	五四四二	一二	三四一	一	二〇三五八	四四	四五八三三	一〇〇

備考　八本表ニハ学校、演習林等ノ林野ヲ含マス
　　ロ所有区分ハ立木主義ニヨル

本邦木炭生産高

（昭和十三年度　単位　千瓲）

地域別 ＼ 製造者	官製		民製		合計	
	生産高	割合%	生産高	割合%	生産高	割合%
朝鮮台湾樺太北海道	一	〇、三	五二一	九九、七	五二二	九八、一
其他ノ内地	四一	一、九	九八一	九八、三	一〇〇〇	一〇〇
計	四二	一、七	二一大〇	九八、三	二五二三	一〇〇

参考

昔通家庭用木炭ハ御令一五ノ二〇年程度ノ原木林（一町歩ヨリ凡ソ六ノ九瓲（一六〇〇ノ二、四〇〇貫）ヲ得
其他鉄用工業炭ハ御令三〇ノ四〇年度ノ原木林一町歩ヨリ凡ソ二〇ノ三〇瓲（五三〇ノ八、〇〇〇貫）ヲ得

木炭所要量ト山林被伐面積

	銑鉄生産事業	所要木炭	山林伐採面積（町歩）	輸送所要面積（平方里）	備考
五瓲角炉	一瓲当木炭	二四瓲	一五ノ一〇年	五ノ四	
一〇瓲丸炉	一二五ノ瓲	三〇〇〇瓲			
二〇瓲〃	三〇〇〇	六〇〇〇			
	一、五	凡、七五〇			
五瓲角炉	一瓲当木炭	一〇〇〇瓲	一五ノ一〇年	二ノ一	一平方里ハ一五五、二町歩
一〇瓲丸炉	一二五ノ瓲	二〇〇〇瓲			
二〇瓲〃	三〇〇〇	六〇〇〇			
	六、五〇〇	三、二五ノ四八八	四、八ノ三、二	八ノ一二	

木炭所要量ニ対スル製炭夫数

	所要木炭	事業有ノ時	副業有ノ時	備考
五瓲角炉	三〇〇〇瓲	一〇〇〇人	四〇〇〇人	専業有五〇〇　一二、〇〇〇貫（一、八七五ノ四、五瓲）
一〇瓲丸炉	六〇〇〇	二〇〇〇	八〇〇〇	窯年間一〇ノ二回焼子約年度約三〇瓲ト看做ス
二〇瓲〃	一二〇〇	四〇〇	一六〇〇	副業有五〇ノ貫（一、八七五瓲）窯年二六回焼平均年産約七五瓲ト看做ス
	凡、七五〇	三、二五	一、三〇〇	

但シ右ハ現状ニヨル此ノ、製炭量ヨリ推算セル所要木炭量ヨリ推算セル所要木炭量ヨリ推算セル所要木

0000 0403

電気製鉄炉一覧表　（生産能力ハK.V.A当ヲ1トシテ推定）

地区	工場所在地	製造業者名	工場名	公称能力及基数（K.V.A）		最近1生産実績（屯）			焼結設備	主原料種別 19-4-6
						18年度	19年4-6	19年7-9		
東北	青森県八戸市	東北電化工業		開放固定 1,000×1 1,500×1 1,200×3	12,200	3685	642	385	建予 3	磁鉄 スケール 砂鉄
〃	〃	大谷製鋼	八戸	〃 1,320×1	2640	1455	356	307		ス(7) 砂(3)
〃	〃	旭電化工業		〃 300×1 450×1	2700					
〃	岩手県盛岡市	不二鉄鉱業	盛岡	〃 500×3	3000	2496	677	311		スケール、赤、褐、砂
〃	〃 和賀郡	東北電気製鉄	和賀川	密閉固定 サスランドフレー 7500×2	30000	14671	3719	3222	A.I.B 100×1	雲鉄、焼結
〃	山形県酒田市	鉄興社	酒田大浜	開放固定 1500×2	6000	4120	971	684		砂鉄、褐、磁鉱
〃	福島県信夫郡	精興鉄鉱工業	杉妻	〃 600×1	1200	−	−			硫
〃	岩手県山目村	横屋電化工業		〃 600×1	1200	2160?				
関東	栃木県栃木市	大谷製鋼	栃木	〃 600×1 450×1	2100	1564	605	523		スケール、砂 屑鉄
〃	東京都足立区	東京鉄鋼	足立	〃 1350×1 900×1	4500	2128	508	481		スケール 磁鉄
〃	横浜市戸塚区	〃	戸塚	〃 1,200×2	4800				建予 2	
〃	〃 鶴見区	大谷重工業	鶴見研究所	〃 450×1	900	398	32	30		砂鉄 赤 褐鉱
〃	神奈川県芹ヶ崎町	第一製鋼		密閉固定 450×1 250×1	1400	191	26	14		砂鉄 褐鉱
〃	山梨県日下部町	日本電化工業	日下部	開放固定 800×1 1300×1 1500×1 1600×1	10400	5592	890	789		磁 砂
		〃	〃	〃 1300×2 1600×2	11600	−	−			
北陸	新潟県長岡市	北越電化工業	蔵王	〃 1000×2 1500×2	10000	1145	556	475		砂 A.S.T 140
〃		〃	〃	〃 2000×2	12000					
〃	富山県富山市	不二鉄鋼材	東岩瀬	密閉固定 300×3	1400	684	146	193		スケール 褐鉱
〃	〃	立山重工業		開放固定 1200×1	2400	1381	444	526		砂、ス A.S.T 515
〃	〃	朝日重工業		〃 600×1 900×1	3000	1046	163	400		砂 屑鉄 A.S.T 160
〃	〃 氷見郡	中鉄電化工業		〃 500×5	5000	2960	1642	1596		スケール 焼結

(13.11)

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

還元剤 種別	還元剤	銑鉄当電力 (KWH)	銑鉄当炭材 (屯)	製品	摘要
粉コークス	650	2600	50	BxD特	炉ハFe-Mn兼用
〃	470	2200	39	Bx特	鋳物工場併置
				A	
〃	650	2600	28	特	
塊コ.亜炭	450	3850	ロータ	日	自家発電
粉コ. 〃	410	3230	27	厚	別ニFe-Mn Fe Si
粉	650	3050	自給	D	19年9月操業開始
					非会員物動外生産
粉2	310	2500	36	特	別ニ精製鋼
粉	545	2160	28	D.特	鋳物工場併置
					建設中
粉	600	3500	47	C.Bx	鋳物工場併置
〃				C	250×1 段階中
〃	590	2960	34	D	自家発電 炉ハFe-Mn兼用
					1300×3 1600×3 建設中
無煙炭	360	4300	自製	特	別ニカーバイド炉7基
					2000×3 建設中
粉	670	3000	30	特	
〃	200	2580	39	C	鋳物工場併置
粉コ.木炭	490	2100	42	C	鋳物工場併置
〃	490	2330	34	D.特	炉ハスピーゲル兼用 鋳物工場併置

(13,2)

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0405

北陸	石川県金沢市	日本電気冶金	本社	電気高炉 1500×1		3600	1544	457	288		棚鉄
〃	福井県大野郡	勝山電化工業		開放固定 500×1 600×1 1020×1	600×1 625×3	9310	2754	1344	1096		棚外鑵
〃	長野県南佐久郡	昭和電工	小海	〃 2400×1	1500×1	13800	2128	508	789		赤鉄、AST 32
東海	愛知県名古屋市	矢作製鉄		密閉固定 1800×2	4500×1	16200	9118	1757	1501	ドワイトワイド 100×1	焼結(9)棚鉄(1)
近畿	京都市伏見区	日本電気製鉄	伏見	開放固定 1300×3		7800	3839	1305	543		スケール 焼結 装薄
〃	大阪市西成区	木津川製鉄		〃 600×2	450×1	2300	1273	281	94		スケール
〃	〃 西淀川区	山田鋼業	個	〃 450×1		900	678	98		8	〃
〃	〃 住吉区	泉本鉄工	加賀屋	〃 1800×6		21600	5756	431	242		硫
〃	兵庫県尼崎市	立正無煙		〃 600×3		3600	2236	454	408		ス、硫
〃	〃	大阪特殊製鉄		〃 600×2 800×3	750×1	8700	7436	1725	1219		ス.
四国	高知県高知市	高知電気冶金		〃 999×1		2000	443	127	57		ス、棚鉱
〃	〃	土佐電気製鋼		密閉煽動 2100×2		8400	490	19	42		ス、砂 AST 900
九州	福岡県門司市	浅野セメント	門司	開放固定 600×1		1200	18	.7	0		
〃	宮崎県東臼杵郡	日本電気製鉄	富島	〃 1200×2 1800×1	1900×1	11000	2330	245	2		装薄 炉慶準
	計	30社	33工場	既設 92基 111,724 KOA 建設中 7〃 8,400 〃 計 99〃 121,124 〃		233,450 16,800 250,510	85732 34.3%	20123 36.0%			

特殊製鉄炉一覧表

地区	工場所在地	製造業者名	工場名	設備名称 能力基数	内容積 (立方)	年産能力 (頓/年)	最近1年度実績(能) 18年度	19年 4-6	19年 7-9	焼結設備	主原料種別	燃料種別	鉄滓処理	製品向先	備考
関東	神奈川県鎌倉市	小川製鉄		反射炉 1							鉄鉱石	石炭			休止中(非公表)
中国	山口県宇部市	宇部興産	宇部鉄工	回転炉 5T/日 1		4,500					褐鉄鉱	宇部炭			建設中

(13-3)

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0406

粉コ	930		69	B、C 特	鋳物工場併置 別= Fe-Mn Fe-Si 共用
〃	620	3680	41	B× 特	炉ハ Fe-Mn 共用
〃	540	3400	39	〃	1500×3ハ含Ni銑別=
木炭 無煙	520	3600	セーダー	D	ガス捕集利用 鋳物工場併置
粉コ	650	3600	40	特. BXD	炉ハ Fe-Mn共用 〃
粉	640	2970	34	特BX	炉ハNi銑共用
	500		30	B、C	鋳物工場併置
粉	550	3860	84	Bx.C	炉ハNi銑 Fe-Mn 共用
	610	2920	32	Bx	鋳物工場併置
	540	2540	32	特 D	原料乾燥キルン連結自動装入 炉ハNi銑共用
粉	580	5090	96	特	炉ハ Fe-Mn Fe-Si Fe-Cr 共用
	280	860	40	C	炉ハ鋳鋼共用
					発ント休止中
	650	3600	40		炉ハ主トシテ Fe-Mn

(13.4)

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0407

20.3.2

既設並建設中及ビ新設計畫木炭銑鐵集計表

地區	既設並建設中ノモノ 基數	標準年産	所要砂鐵鑛石	所要木炭	事業者	移設並新設予定計畫ノモノ 基數	標準年産	所要砂鐵鑛石	所要木炭	予想事業者	計 基數	標準年産	所要砂鐵鑛石	所要木炭	山林局内容證 木炭量
北海道	角4×1	1.000	2.400	2.400	北海砂鐵工業	丸10×1 角5×8	3.000 10.000	6.000 24.000	4.500 24.000	北海道農機具6 北海砂鐵其他	丸10×1 角5×10	14.000	32.400	30.900	33.000
青森						角5×1	1.250	3.000	3.000		角5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
岩手						丸10×2 角5×3	6.000 3.750	12.000 9.000	9.000 9.000	日鐵其他	角5×3 丸10×2	9.750	21.000	18.000	12.000
秋田						角5×1	1.250	3.000	3.000		丸5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
山形	丸10×1	3.000	6.000	5.000	中央製鐵						丸10×1	3.000	6.000	5.000	5.000
福島						角5×3	3.750	9.000	9.000		角5×3	3.750	9.000	9.000	9.000
栃木															1.500
群馬															1.000
埼玉	角5×1	1.250	3.000	3.000	共和製鋼						角5×1	1.250	3.000	3.000	
福井						角5×1	1.250	3.000	3.000		角5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
長野						角5×1	1.250	3.000	3.000		角5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
岐阜						角5×1	1.250	3.000	3.000		角5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
兵庫	(角5×1)	(750)	(1.800)	(1.800)	(能谷製鋼)										
岡山															
鳥取	角3×1 (〃3×1) (丸10×1) 丸5×1 角5×1	750 (750) (3.000) 1.500 1.250	1.800 (1.800) (7.500) 3.600 3.000	1.800 (1.800) (5.400) 3.600 3.000	石産金屬 (〃) (大阪特殊製鋼) 〃 〃						角3×1 角5×1 丸5×1	3.500	8.400	8.400	8.600
島根	角4×15×3 丸5×20×1	4.750 8.000	11.400 17.900	11.400 12.750	出雲 [illegible] 日本 [illegible]						角4×15×3 丸5×20×1	12.750	29.300	24.150	24.150
廣島	丸20×2	13.000	28.600	19.500	帝國製鐵						丸20×2	13.000	28.600	19.500	17.750
德島						角5×1	1.250	3.000	3.000		角5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
愛媛						角5×1	1.250	3.000	3.000		角5×1	1.250	3.000	3.000	3.000
高知						角5×9 丸15×1	11.250 4.500	27.000 9.000	27.000 8.000	住川其他	角5×9 丸15×1	15.750	36.000	35.000	35.000
熊本	角8×1	2.000	4.800	4.000	大阪特殊製鋼	角5×1	1.250	3.000	3.000		角8×15×1	3.250	7.800	7.000	7.000
大分						角5×2	2.500	6.000	6.000		角5×2	2.500	6.000	6.000	5.800
宮崎	角8×1	2.000	4.800	4.000	日立	角5×3	3.750	9.000	9.000		角8×15×3	5.750	13.800	13.000	13.000
鹿兒島						角5×3 丸10×2	3.750 6.000	9.000 12.000	9.000 9.000		角5×3 丸10×2	9.750	21.000	18.000	18.000
															650
計	19基 (3基)	43.000 (4.500)	98.400 (11.100)	79.450 (9.000)		丸 6 基 角39 〃	19.500 48.750	39.000 117.000	30.500 117.000						
合計	16基	38.500	87.300	70.450		45 〃	68.250	156.000	147.500		61基	106.750	243.300	179.500	210.450

備考　括弧内ノモノハ休止又ハ移設スルモノトス丸爐ハ木炭丸爐小型コークス爐等ノ移設轉用或ハ一部新設スルモノトス

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873

0000 0408

20 3 2

既設並建設中及ビ新設計畫木炭銑鑪集計表

地區	既設並建設中ノモノ					移設並新設予定計畫ノモノ					計				山林局内容認木炭量
	銑鑪ノ口×基數	標準年產	所要砂鐵鑛石	所要木炭	事業者	銑鑪ノ口×基數	標準年產	所要砂鐵鑛石	所要木炭	予想事業者	銑鑪ノ口×基數	標準年產	所要砂鐵鑛石	所要木炭	
北海道	角4×1	1,000	2,400	2,400	北海砂鐵工業	丸10×1	3,000	6,000	4,500	北海道農機具6 北海砂鐵其他	丸10×1	14,000	32,400	30,900	33,000
青森						角5×8	10,000	24,000	24,000		角4×15				
岩手						角5×1	1,250	3,000	3,000		角5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
秋田						丸10×2	6,000	12,000	9,000	日鐵其他	角5×3	9,750	21,000	18,000	12,000
山形	丸10×1	3,000	6,000	5,000	中央製鐵	角5×3	3,750	9,000	9,000		丸10×2				
福島						角5×1	1,250	3,000	3,000		丸5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
栃木											丸10×1	3,000	6,000	5,000	5,000
群馬						角5×3	3,750	9,000	9,000		角5×3	3,750	9,000	9,000	9,000
埼玉	角5×1	1,250	3,000	3,000	共和製鋼										1,500
福井															1,000
長野						角5×1	1,250	3,000	3,000		角5×1	1,250	3,000	3,000	
岐阜						角5×1	1,250	3,000	3,000		角5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
兵庫	(角5×1)	(750)	(1,800)	(1,800)	(龍谷製鋼)	角5×1	1,250	3,000	3,000		角5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
岡山											角5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
鳥取	角3×1	750	1,800	1,800	石產金屬										
	(〃3×1)	(750)	(1,800)	(1,800)	(〃)										
	(丸10×1)	(3,000)	(7,600)	(5,400)	(大阪特殊製鋼)										
	丸5×1	1,500	3,600	3,600	〃						角5×1	3,500	8,400	8,400	8,600
	角5×1	1,250	3,000	3,000	〃						角5×1				
											丸5×1				
島根	角4×15×3	4,750	11,400	11,400	出雲1 日立2 後1						角4×15×3	12,750	29,500	24,150	24,150
	丸5×30×1	8,000	17,900	12,750	日鐵1 帝國1						丸5×30×1				
廣島	丸20×2	13,000	28,600	19,500	帝國製鐵						丸20×2	13,000	28,600	19,500	17,750
備島											角5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
愛媛						角5×1	1,250	3,000	3,000		角5×1	1,250	3,000	3,000	3,000
高知						角5×9	11,250	27,000	27,000	淀川其他	角5×9				
						丸15×1	4,500	9,000	8,000		丸15×1	15,750	36,000	35,000	35,000
熊本	角8×1	2,000	4,800	4,000	大阪特殊製鋼	角5×1	1,250	3,000	3,000		角9×15×1	3,250	7,800	7,000	7,000
大分						角5×2	2,500	6,000	6,000		角5×2	2,500	6,000	6,000	5,800
宮崎	角8×1	2,000	4,800	4,000	日立	角5×3	3,750	9,000	9,000		角8×15×3	5,750	13,800	13,000	13,000
鹿兒島						角5×3	3,750	9,000	9,000		角5×3	9,750	21,000	18,000	18,000
						丸10×2	6,000	12,000	9,000		丸10×2				
															650
計	19基	43,000	98,400	79,450		丸 6 基	19,500	39,000	30,500						
	(3基)	(4,500)	(11,100)	(9,000)		角39 〃	48,750	117,000	117,000						
合計	16基	38,500	87,300	70,450		45 〃	68,250	156,000	147,500		61基	108,750	263,000	227,950	228,450

備考 括弧內ノモノハ休止又ハ移設スルモノトス丸鑪ハ木炭丸鑪小型コークス鑪等ノ移設轉用或ハ一部新設スルモノトス

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492873